

国の施策及び予算に対する要望活動

8月27日、自民党議員団の近藤永太郎団長をはじめとする代表団が、総務省、国交省、厚労省、内閣府、内閣官房にて、新型コロナウイルス感染症への対応に関する重点要望活動を行いました。



西村康稔内閣府特命担当大臣(経済財政政策)に要望書を提出

令和2年度9月補正予算の概要 総額 809億7,300万円

1. 医療・検査体制の充実・強化
◆医療・検査体制の充実・強化 84億4,400万円
唾液検査のできる診療所 280箇所(8月末) → 408箇所(9月末現在)
帰国者・接触者外来 46箇所(8月末) → 52箇所(9月末現在)
受入病床 515床(8月末) → 530床(9月末現在)

2. 感染防止対策の徹底

- ◆施設実習生に対するPCR検査費用の支援 9,600万円
◆大学等の感染防止対策への支援 4億8,800万円
◆安心・安全な京の修学旅行への支援 5,000万円
◆地域公共交通の安心確保への支援 2億5,500万円

3. 雇用・経済緊急対策

- ◆コロナ離職者採用等への支援 8億4,800万円
◆学生の府内企業就職促進に向けた緊急対策 1,500万円
◆ものづくり企業の販路開拓の取組への緊急支援 3億1,000万円
◆商店街店舗の設備投資等への支援 6億円
◆「京の酒」の販路拡大支援 2,000万円
◆府内産木材利用拡大等への支援 1億6,500万円
◆中小企業の資金繰り支援 600億円
◆生活福祉資金の貸付 65億円
◆府指定文化財等の所有者に対する支援 3,200万円

4. WITHコロナ時代の地域活性化

- ◆グローバル展開を見据えたスタートアップ支援の拡充 1,000万円
◆「地域づくりファンド(仮称)」の創設 1億円
◆歴史的建造物の保存伝承 6,400万円

コロナ禍における府内企業・関係団体の実情を調査

9月定例会に先立ち、コロナ感染症の拡大に伴う影響や、これを契機とする新しい取組等について把握するため、所属議員を少人数の4つの班に編成し、感染症対策に留意しながら、現地調査を行いました。



このほか、下記の団体に調査にご協力いただきました。

京都大学ウイルス・再生医科学研究所、京都信用保証協会、京都労働局、京都府漁業協同組合、京都府立大学、福知山公立大学、海の京都DMO、京都府茶業研究所、株式会社スプレッド

自民党が提出し、可決された意見書
この意見書は、衆参両院議長・総理大臣・所管大臣に提出します。
◆私学助成の充実強化等に関する意見書
◆新型コロナウイルス感染症からの経済の復興に関する意見書
◆防災・減災・国土強靱化に資する社会資本整備の継続的な推進を求める意見書

9月定例会での質問項目の一部抜粋です。\*京都府議会のHP (http://www.pref.kyoto.jp/gikai/index.html) で録画中継をご覧になることができます。

WITHコロナ、POSTコロナ社会の中でも、夢や希望が抱ける京都府の実現を。
○新型コロナウイルス感染拡大防止対策
○地域経済対策
○財政運営
○デジタルニューディール
○お茶の効能と消費拡大



宇治市・久世郡 藤山裕紀子

①コロナ禍社会における府政の推進
②豪雨災害・水害対策
③府中北部と京都市を繋ぐ交通網整備
①府総合計画の見直し、移住促進条例改正の方向性は。
②府域の豪雨・水害対策、防災拠点やコロナに対応できる避難所の充実。
③国道9号の夜久野地域安全対策、福知山道路4車線延長工事、福知山市・京丹波町間の付加価値整備の状況は。早期完成が望まれる市島和知線の進捗状況は。JR園部・綾部間複線化の現在の状況は。



福知山市 家元 優

コロナ禍において再認識させられた～人と人とのつながりと命の大切さ～ 企業と地域の発展・伝統産業への支援
○ウィズコロナ社会における取組への支援を！
○西陣織をはじめ伝統産業事業者への支援を！
○新型コロナウイルスの感染者等に対する人権問題について
○ウィズコロナ社会における教員の働き方改革について
○増加する児童虐待への対応等
○自動車のながら運転、自転車事故 取締り強化が必要と考える。



上京区 宮下友紀子

府庁の北部移転、副知事の北部常駐、北部府庁の創設は、コロナ後の府政の重要な検討課題だ。知事の見解は？
西脇知事の答弁(要旨)
▶府域の均衡ある発展は府政の重要課題。北部振興は府域の均衡ある発展に不可欠であり、私自身がリーダーシップを発揮して全庁を動かし、組織の総力を挙げて取り組むべき課題と認識している。
▶このため、まずは山陰本線の複線化に向けた利用促進、京都縦貫自動車道の利便性向上のためのネクスト移管などの基盤づくりや総合的な治水対策、医師確保などに引き続き全力で取り組む。
▶北部勤務の府職員は30代40代が少ない。3年前の四方議員の指摘を踏まえ、昇任の際に北部勤務を位置づける人事管理手法を事務局にも導入した。今後は北部に住みながら、リモートワークも使った本庁の企画立案業務に就く新しい人事制度も研究中だ。



綾部市 四方源太郎

①総合計画の見直しについて
②国土強靱化について
③宇治茶の振興策について
①コロナショックで生じている問題は、多くが以前より予測されていた。にもかかわらず十分な対策ができていない状況にある。
②防災減災対策と一極集中解消のため、20年間で半減したハード対策を長期計画に基づいて行うべき。
③宇治茶の価格が大きく低下し、生産農家は事業継続が困難に。地域農業を牽引するトップランナーを支援することは、宇治茶の価格を支え、業界の発展や担い手育成にも繋がる。今後、高級茶をどのように需要回復させ生産振興に繋げようとしているのか。



京田辺市・綴喜郡 古林良崇

地域における歯科診療体制の充実
医療介護福祉分野におけるICT化
学校を核とした地方創生について
京都府歯科医師会の口腔サポートセンターは増加するニーズに対応するための訪問診療体制を強化しているが、地域医療を担う各種事業を将来も着実に実施するためには京都府の継続的な支援が必要と考えるが、同センターが担う要介護者の口腔支援などの必要性について、どのように考えているのか。
経済財政運営と改革の基本方針2020でも、医療、介護、福祉分野におけるデータ活用やオンライン化の加速が明記される中、これらの分野におけるICT化を加速させる取組が必要と考えるが所見を伺いたい。高校の校長や地域住民が力を合わせ、高校の魅力を向上させ、他地域や他府県からも生徒を呼び寄せ、ひいては地域の創生につなげていきたいという声を聞くが、京都府の対応はどうか。



右京区 北原慎治

コロナウイルス感染拡大の中、どのように府民の安心・安全を将来にわたって、守っていくのか、知事に問う！
①下水道事業について
②保健所について(コロナ禍を機として)
③京都府の財政状況について



長岡京市・乙訓郡 能勢昌博

☆地域住民と観光客が安心・安全で快適に海を利活用できる取組の強化を！
☆特別支援教育の環境の整備充実を！
●天橋立では水上バイク等の安全な航行を促進し、地元住民と観光客にとって安心・安全で快適な環境を実現していく安全対策協議会が設立され、広報・啓発活動を推進されている。
●丹後振興局の医療的ケア児移動支援モデル事業を、子育てと合理的配慮の両面から高く評価し、府内全域への拡充を強く要望する。
●与謝の海支援学校の早期整備など、京都府の特別支援教育の充実により、障害のある子どもたち一人ひとりが、たくましく生きる力を身に付け、将来に夢と希望を持って自立し、自分の暮らしたい場所安心して社会参加ができる真の共生社会の実現を願う。



京丹後市 森口 亨

①これからのDMOの役割について
②丹後の織物・機械金属業について
③積極採用を行う起業支援について
①コロナ禍で起こった価値観の変化は、地方への人の流れを一層加速させる可能性がある。こうした社会変化を地域の発展に結びつけるためには、府と市町村との連携が欠かせない。DMOは観光振興だけでなく、地域振興という観点で中核的な役割を果たすべき。
②織物業は仕事等が減少したことで注文が激減し、機械金属業も景気回復の期待感が低く予断を許さない状況にある。コロナ禍で明らかになった課題や未来に向けた明るい兆しを捉え、WITHコロナ・POSTコロナ社会を見据え各産業の振興を積極的に進めたい。
③コロナ禍を好機と捉え新規採用を行う企業を応援することは、就職氷河期をつくらないこと等に繋がる。企業が積極的な採用を行い、人材確保や業績の向上に結びつけられるような施策展開を行うべき。



宮津市・与謝郡 中島武文

新型コロナウイルス感染症に関するお困り事・ご要望は地元の議員にご相談ください。

